

NISSAN



資料2029-レ作2-2

運転支援システムの現状と今後

2010年3月16日

日産自動車株式会社
IT&ITS開発部
溝口 和貴

CONTENTS

- 1. 安全への取り組み**
- 2. 運転支援システムの現状**
- 3. 運転支援システムの今後**

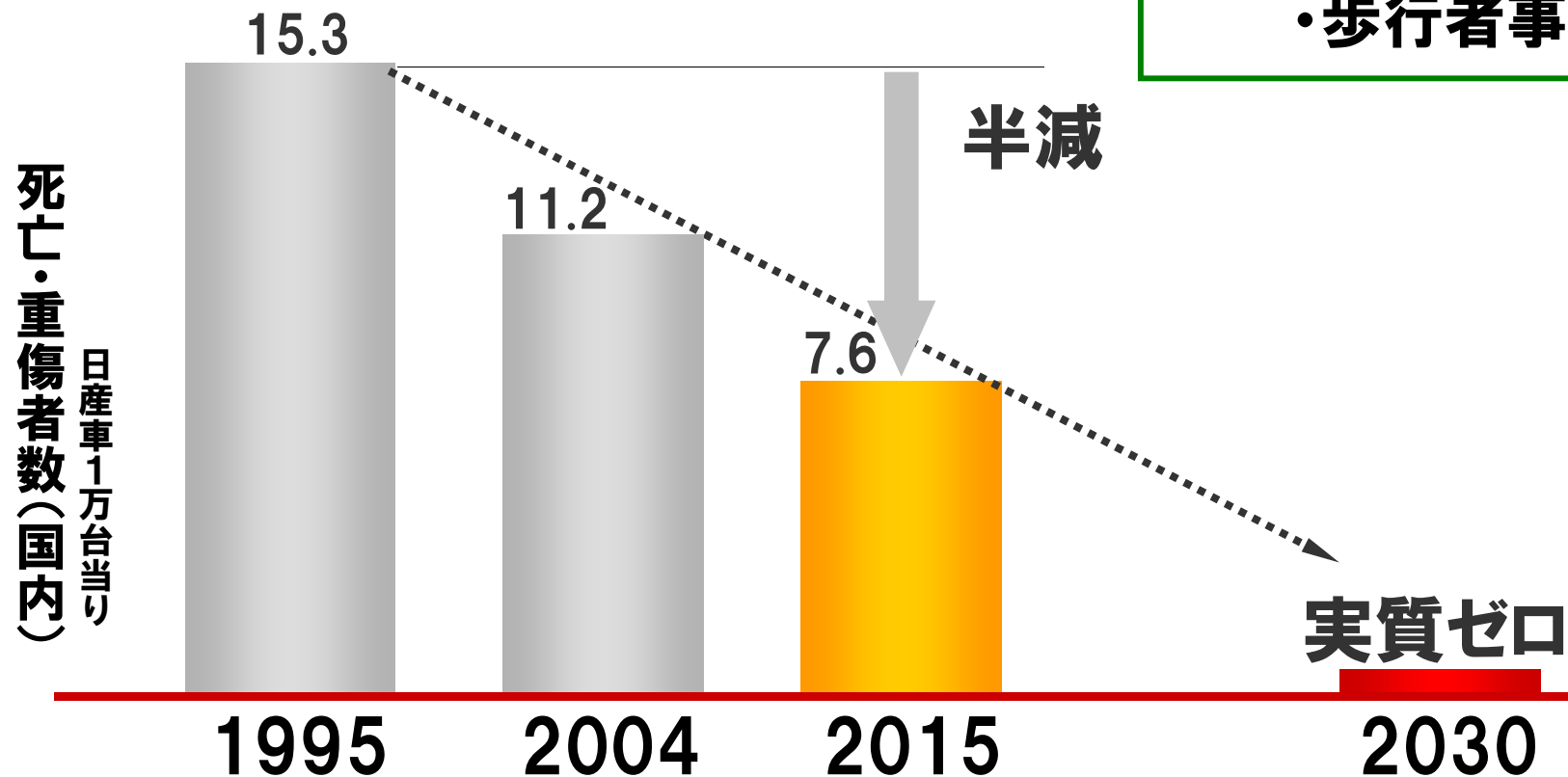
1. 安全への取り組み

安全 Vision Zero

- 2015年までに重症・死亡事故半減
- 2030年までに交通事故ゼロを目指す

世界の4大事故形態

- ・追突
- ・車線逸脱
- ・交差点事故
- ・歩行者事故



トリプル・レイヤード・アプローチ

- きわめて高いハードル=Vision Zeroをクリアするため、「クルマ」・「人」・「社会・交通」3要素すべてで革新を図る

社会・交通
Society・Traffic

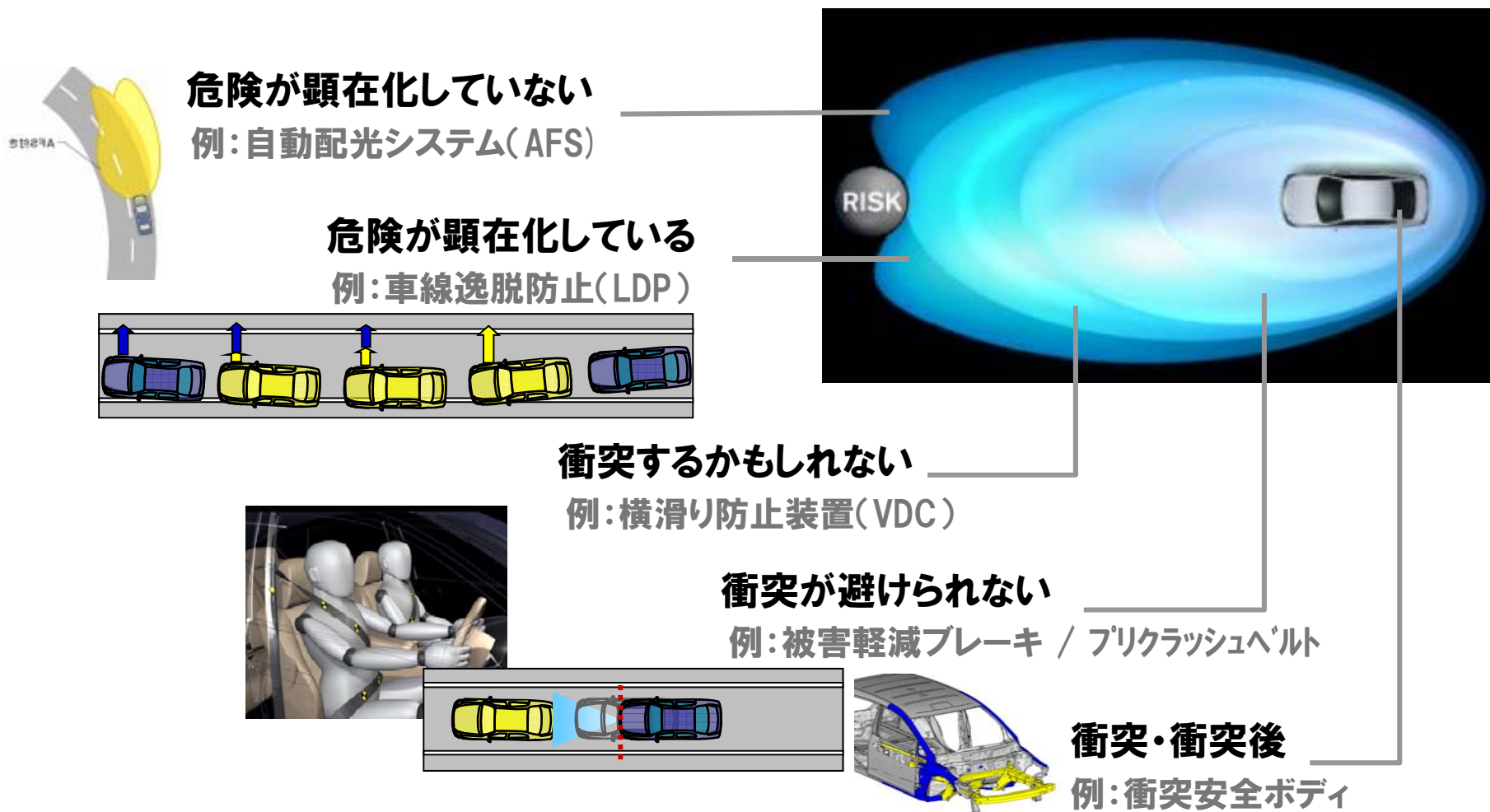
人
Driver

クルマ
Vehicle



“Safety Shield Concept” ～「クルマが人を守る」という考え方～

- 通常運転から衝突後まで、運転状況に応じて適切な技術を提供。事故そのものを減らし、究極は死亡重傷者をゼロに



2. 運転支援システムの現状

運転支援システムの実用化状況

■ Safety Shield Conceptに基づく、数々の運転支援システムが実用化されており、その多くにミリ波レーダを用いることが可能。

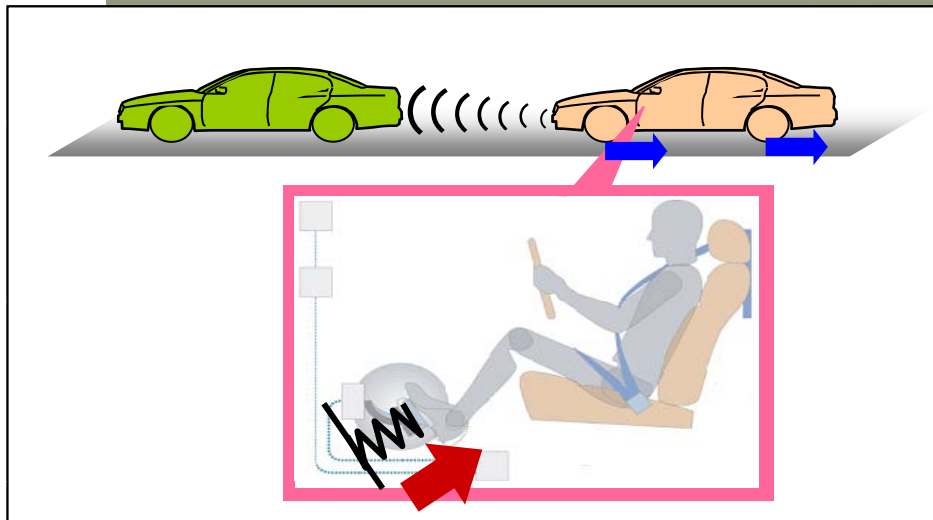
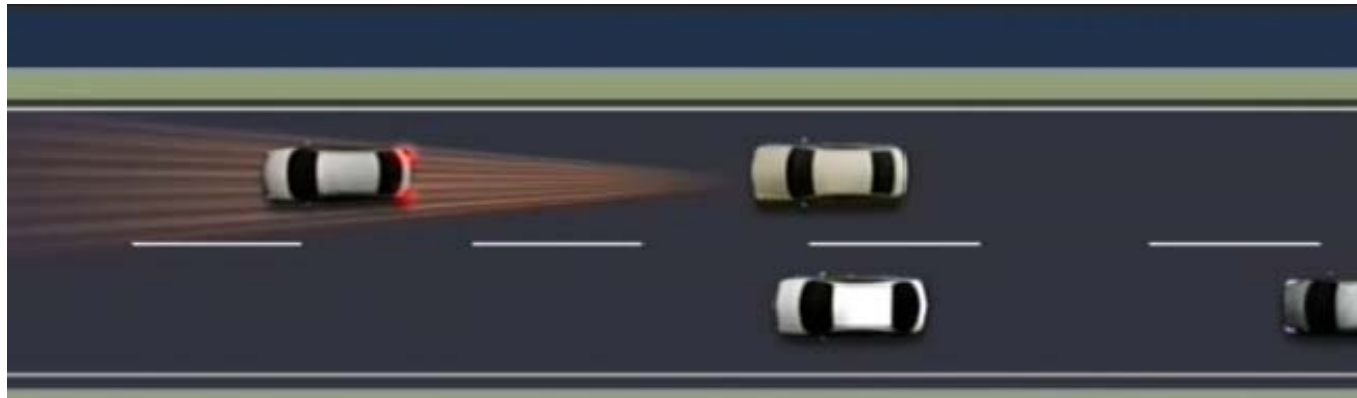


- ・ Lane Keeping Support
- ・ Intelligent Cruise Control
- ・ Low Speed Following System
- ・ Intelligent Brake Assist
- ・ Adaptive Front-Lighting System
- ・ Lane Departure Warning
- ・ Distance Control Assist
- ・ Lane Departure Prevention
- ・ Around View Monitor
- ・ Intelligent Cruise Control Navi-corp.

ミリ波レーダ適用可能システム

運転支援システム例 ~Distance Control Assist System~

- 安全な車間距離を保つようにドライバーを支援
- 前の車との間にあたかも見えないクッションがあるように、アクセルペダルからのフィードバックを感じる



3. 運転支援システムの今後

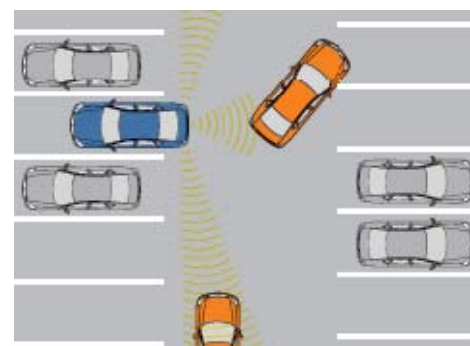
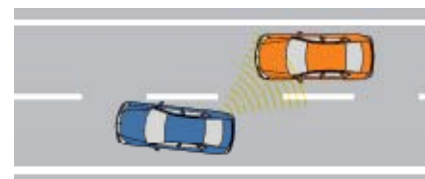
運転支援システムの今後

■新たな運転支援システムの実用化

⇒ 検知対象の拡大

- ✓車両(側方、後方)
- ✓二輪車
- ✓自転車
- ✓歩行者
- ✓障害物

etc.



■既存システムの性能向上

- ⇒ 検知範囲(距離、角度)の拡大
- ⇒ 高精度/高分解能化

NISSAN



ご清聴ありがとうございました。